

記者発表資料

"御所ダム及び四十四田ダムの連携した洪水調節効果"と "胆沢ダム建設事業"が、全建賞を受賞

北上川ダム統合管理事務所が実施した御所ダム及び四十四田ダムにおける洪水調節効果と、胆沢ダム工事事務所が実施した胆沢ダム建設事業が、(一社)全日本建設技術協会の平成25年度「全建賞」を受賞しました。

御所ダム及び四十四田ダムにおける洪水調節効果については、平成25年8月9日と台風18号での記録的な出水に、明確な役割分担と迅速・的確な防災操作、御所ダムと四十四田ダム連携による下流河川の被害軽減、ダム効果を最大限に発揮したことが評価されました。

胆沢ダム建設事業については、我が国初のロックフィルダムである「石淵ダム」の再開発として、洪水被害の軽減や安定した用水供給等を実現する胆沢ダムが、石淵ダムから胆沢ダムへ継承された設計施工技術で、堤体施工中に発生した2度の巨大地震を乗り越えて完成に至ったことが評価されました。

【平成25年度 受賞事業名】 ○御所ダム及び四十四田ダムにおける洪水調節効果
○胆沢ダム建設事業

【評価】

○御所ダム及び四十四田ダムにおける洪水調節効果

ダムの洪水調節効果について平成25年度の実例をもとにとりまとめられており、こうした施設の防災効果を対外的に示していくことは、アカウンタビリティの観点からも重要であることが評価されました。

○胆沢ダム建設事業

国内屈指の規模のロックフィルダムの建設において、施工中に2度の巨大地震を経験し、特に岩手・宮城内陸地震の際には堤体の盛立面での変状、建設途中の洪水吐きの損傷を経ながらも施工の工夫を経て完成にこぎつけたことが評価されました。

◇全建賞とは・・・

本賞は、一般社団法人全日本建設技術協会が設置し、「建設技術の活用」や「公共事業の進め方やストックの運用の工夫等」により、特出した成果が得られた事業や施策に贈られるもので、昭和28年に創設された伝統ある賞です。平成25年度は全国で297事業の応募があり、60事業（東北10事業）が受賞しました。なお、本賞は、東京学芸大学名誉教授 小沢紀美子氏を委員長とする同賞審査委員会で審査されています。

〈発表記者会：岩手県政記者クラブ〉

【問い合わせ先】

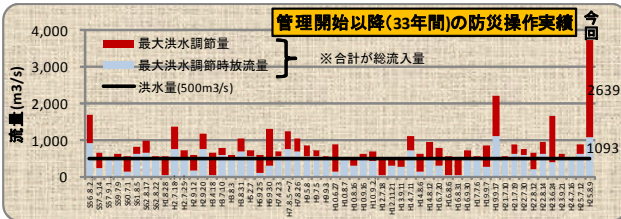
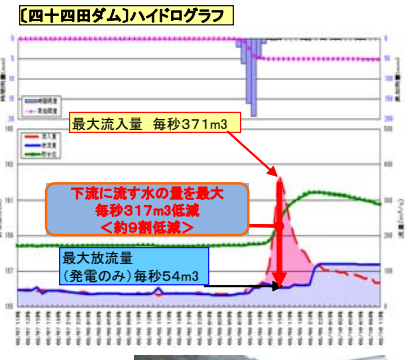
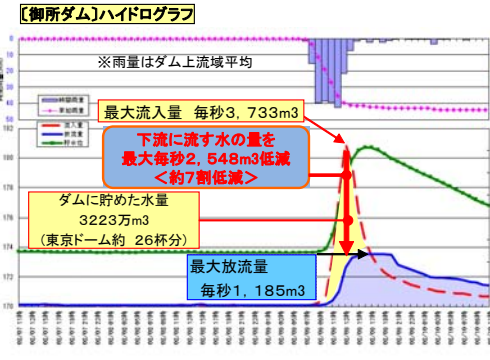
国土交通省 東北地方整備局 北上川ダム統合管理事務所
盛岡市下厨川字四十四田1
電話：019-643-7831（代表）
副所長（管理担当） 菅原 裕彦（内線204）
（施設担当） 大入 敏夫（内線205）

御所ダム及び四十四田ダムにおける洪水調節効果

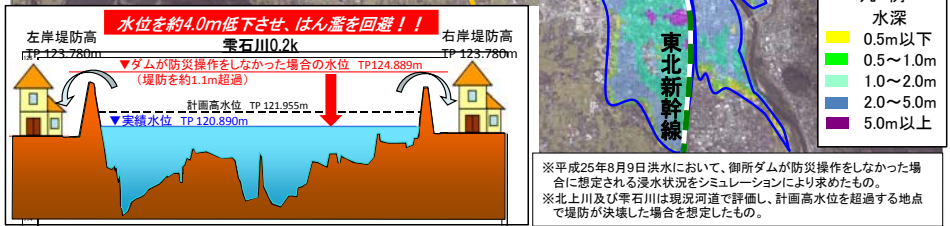
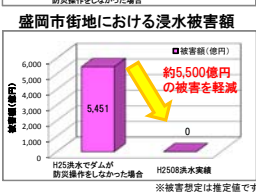
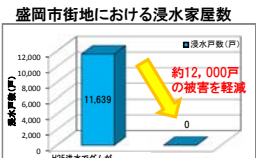
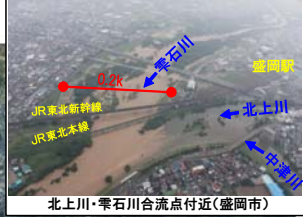
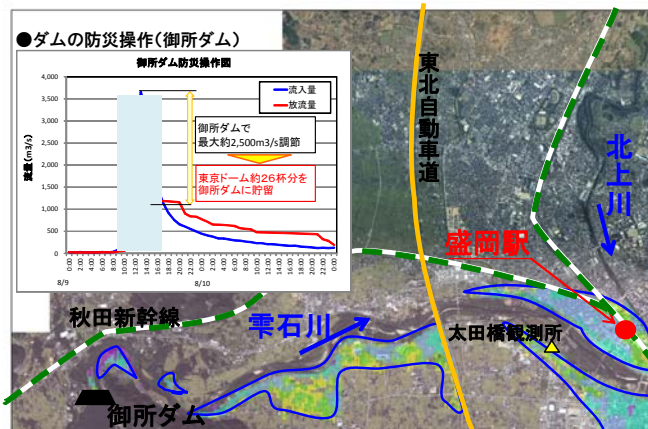
〇8月9日

北上川水系 御所ダムと四十四田ダムの連携効果 (平成25年8月9日低気圧)

〇御所ダムでは**最大2,548 m³/秒**を、四十四田ダムでは**317 m³/秒**の洪水を貯留し、**下流水位の低減**を図りました。
【約3223万m³(東京ドーム約26杯分、岩手県庁約380杯分)の水をダム湖に貯めました】
 〇御所ダムの最高水位は180.72mまで上昇し、**洪水時最高水位182.00mまで、あと1.28mにせまりました。**
 〇盛岡市の雫石川合流点付近では、避難判断水位以下の水位でしたが、ダムが無ければ**約4.0m水位が上昇し、盛岡市街地の各地点ではん濫する危険性**があったと推測され、河川堤防とダムの整備により、今回の洪水被害を防ぐことができました。
 (浸水のおそれがあったエリアでは、11,743戸、5,517億円の被害と想定されます) ※数値は速報値



御所ダムが防災操作をしなかった場合にははん濫が想定されるエリア



胆沢ダム建設事業

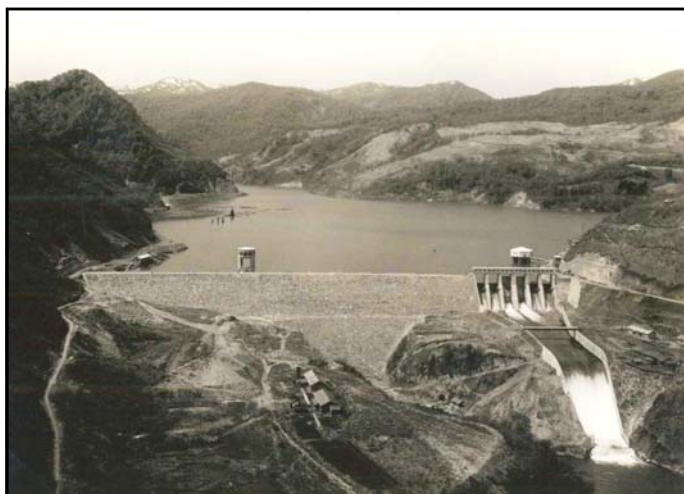


写真-1 石淵ダム

「石淵ダム」

昭和21年着工、同28年完成。
日本人技術者が海外の文献等を参考に工学的に設計した本邦初のロックフィルダム。終戦直後の疲弊した国土の再建のため、幾多の困難を克服、北上特定地域総合開発(KVA)第1号のダムとして完成。
以来60年間、戦後日本の復興、成長を底辺で支え続けた。



写真-2 胆沢ダム

「胆沢ダム」

昭和63年着工、平成25年完成。
胆沢扇状地の扇頂に21世紀初頭、新たな水文化を創造する水瓶が誕生。
石淵ダムの持つ機能を大幅に増強し、頻発する北上川の洪水や水道用水の供給などの新たな要請に対応する。
平成20年岩手・宮城内陸地震では震源から至近距離にあったため、震度6強の揺れによりダム堤体などの被災が確認されたが、施工の工夫を経て完成に至っている。

胆沢ダム・石淵ダムの諸元

	石淵ダム	胆沢ダム	比較
型式	コンクリート表面遮水壁型 ロックフィルダム	中央コア型ロックフィルダム	—
堤頂標高(EL.m)	323.0	364.0	—
堤高(m)	53.0	127.0	2.4倍
堤頂長(m)	345.0	723.0	2.1倍
堤体積(m ³)	442,500	13,500,000	30倍
湛水面積(m ²)	1.1	4.4	4倍
総貯水容量(m ³)	1,615万	1億4,300万	9倍
有効貯水容量(m ³)	1,196万	1億3,200万	11倍